

松波総合病院

患者に癒やしの音色

聖マリア女学院高生が演奏



手話を交えて三重奏を披露する生徒たち
＝笠松町田代、松波総合病院

聖マリア女学院高校(岐阜市)の生徒によるボランティアのロビーコンサートが、笠松町田代の松波総合病院であり、歌とピアノ、バイオリンの三重奏で患者

ら約90人に癒やしの音色を届けた。同校聖歌隊に所属する2年牧村珠伶さん(16)が、中学校からの同級生で幼少からバイオリンを続ける丹羽

彩乃さん(16)と、ピアノの棚橋菜南さん(16)を誘って初めて企画した。

クラシック曲のほか唱歌「ふるさと」やテレビ番組「情熱大陸」のテーマ曲など幅広い年代が楽しめる8曲を演奏。「上を向いて歩こう」では、牧村さんが手話を交えて歌い、訪れた人も曲と一緒に口ずさんだりして楽しんだ。

牧村さんは、2月に亡くなった祖父の見舞いで訪れた病院でロビーコンサートを見て「私にできることでボランティアをしたい」と思い立ったといい、「少数での経験がなく緊張したが、2人のおかげで無事できた」と感慨深げ。丹羽さんは「自然に手拍子が出てうれしかった」、棚橋さんは「音楽で皆が一つになり、やって良かった」と話していた。

26日には岐阜大病院(岐阜市)で演奏会を開く。

(亀山大樹)